



フィクションが人を操る

Fictions Control

永田円了

およそ 38 億年前に地球に生命が誕生する。その後約 600 万年前、ヒトとチンパンジーの祖先が分かれ、250 万年前にアフリカで初めてヒトが出現した。その後の人類の歴史で注目すべきは、次の三つの革命である；認知革命、農業革命、科学革命。

今回のテーマ“フィクション”の誕生を認知革命と呼び、以後人類は地球上の生物の中で、トップの座に君臨することになるのである。

認知革命

人類はおよそ 7 万年前にフィクションを他者と共有する力を身につけた。フィクションとは、人がつくった物語。神話、宗教などもフィクションである。人類が世界を支配することができたのは、このフィクションを信じることによって、大人数で協力できたからである、と歴史学者・ハラリ氏は述べる。

人は単独では、チンパンジーや豚よりも弱い存在である。人とチンパンジーは、98.77%のゲノムが同じ。DNA の違いは 1-4%程と言われている。チンパンジーも群れをなして協力し合う。大きな群れでは 50 頭から最高 100 頭までなら一つのグループとして行動を共にできる。しかしそれ以上になると、対立し争いが起こる。

人間は、何百人、何万何億の単位でグループ化が可能である。仏教徒 4 億人、キリスト教信者 23 億人など、顔も知らない人たちと行動を共にすることができる。共通のフィクションが人々の信頼関係をつくるからである。**ウイルスに対する人間の最大の強みは、多くの他者と協力し合えることである、**とハラリ氏と言う。



歴史学者
ユヴァル・ノア・ハラリ

農業革命と科学革命



農業革命：1 万 2000 年前、作物栽培と動物の家畜化が誕生した。穀物の栽培に成功し、富を得た人類、それは支配する者とされる者の区別を生み、そこから貧富の格差につながった。農業革命では、人類は何よりも支配することを学んだのであった。

支配、それは地球上に人類が誕生してから初めて行われたことであった。それ以前は、人は動物を狩り、植物を採取してきたが、それらを支配しようとはしなかった。

科学革命： 科学技術の進歩により、人類は地球を支配するまでの存在になる。地球全体が単一の歴史の舞台になり、資本主義の台頭がはじまる。人類が惑星・地球という限界を越え、核兵器が人類の存在を脅かし、生物が自然選択ではなく、知的設計によって生み出され始めるのである。

科学という名のもとに、太古からの生態系を破壊し続けてきた人類を、ハラリ氏は“連続殺人犯”と呼ぶ。何百種もの鳥や昆虫、貝類など、その土地土地の生物を人類は直接間接的に全滅させてきた。コロナもまた、環境破壊の中で起きた野生動物と人間との接触に起因すると言われる。

<事例 DVD>

ユヴァル・ノア・ハラリ 特別授業 ETV 2020/11/14
 コロナ新時代への提言 福岡伸一 BS1 2020/8/1
 映画「13 人の刺客」江戸時代のフィクションに立ち向かう
 映画「柘榴坂の仇討」フィクションが変容する
 武漢在住作家・方方（ファンファン）女史、インタビュー
 「文明国家である基準はただ 1 つしかない、それは・・・」
 エリザベス女王のメッセージ One For All. All For One.
 歌・キャロル・キング You've Got A Friend 友だちだもの

円了のホームページ：www.enryo.jp

